

「新防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [ 東六番丁小学校 ] 氏名 [ 谷本 恵美 ] [ 小 ] 学校 [ 1・2・3 ] 年版 単元名 [ 学びのまど ] P 6 0 教科・領域名 [ 学級活動 ] [ 6 0 分 ]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震が起きた時に子どもたち自身がどのように行動すればいいのか判断力を養い、自分のみを守ることの大切さに気付くことができる。</li> </ul> <p>1 東日本大震災の時の学校の様子について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東六番丁小学校も避難所になったことや、当時の学校の様子を話す。</li> </ul> <p>2 家にいる時、外で遊んでいる時に地震がきたらどうするかグループで話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに話し合い、紙に書いて発表させる。</li> </ul> <p>3 防災のキーワードを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P. 6 0を読む。</li> </ul> <p>「自助」「共助」「減災」のキーワードについて、教科書を用いて説明する。</p> <p>4 発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードで学んだことをいかし、自分たちの考えを振り返り、大切だと思ったことを発表させる。</li> </ul>	<p>《児童の反応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくは幼稚園から帰ってきて家にいた。お母さんとお兄ちゃんを迎えに学校に行った。</li> <li>もし小学生だったら、帰りの会とか掃除の時間だと思う。</li> <li>低学年だったら、家に帰っている途中かもしれない。</li> <li>先生の指示で机の下に隠れて、揺れがおさまったら、体育館に避難する。</li> <li>家の人を迎えに来るまで学校にいる。</li> </ul> <p>(家にいる時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルの下にもぐる。</li> <li>ラジオをつける。</li> <li>家に大人がいない時は、学校に行く。</li> </ul> <p>(外で遊んでいる時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物が落ちてこないところに行く。</li> <li>安全なところで揺れがおさまるまでかくれる。</li> <li>学校に行く。</li> </ul>
	